

# ふれあい

2016.1.25

No.201

発行：ふれあい編集委員会 〒220-0011 横浜市西区高島 2-6-32 善仁会グループ TEL:045(453)6772 ホームページ [www.zenjinkai.or.jp](http://www.zenjinkai.or.jp)



特集

嬉しかった言葉



心のかよう医療・福祉を患者さま、お客さまへ  
善仁会グループ

# 年頭にあたって



明けましておめでとうございます。

今年はとても暖かく穏やかな正月となりました。皆さまも晴れやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、患者さまとのつながりをより強く実感した1年でした。また、各医療機関の先生方をはじめ、多くの方々にご助言いただき、支えていただいた1年でもありました。平素から一方ならぬご厚情を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

今年が申年です。患者さまに快適な生活を送っていただくため、私たちは医師やコメディカルがチームとなり、患者さまの想いに耳を傾け、取り巻く環境をしっかりと理解し、皆様のご不安や課題を取り去ってまいります。また医療・福祉のプロフェッショナルとして自己研鑽に励むとともに、連携機関とのつながりもより強固なものとし、ご提供する医療の質をさらに向上させてまいります。そして皆さまと豊かな信頼関係を育み、私たちが理念とする「心のかよう医療・福祉」を実践してまいり所存です。

皆さまにとって本年が心安らかな一年でありますよう祈念いたしますとともに、今年も変わらぬご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



善仁会グループ  
医療法人善仁会  
理事長 千葉 哲男



特集

## 嬉しかった言葉

患者さまやお客さまとふれあう中で、私たちは多くの言葉を頂いております。日々の何気ない一言も、私たちにとっては励みとなり、支えとなる大切なものです。今回は、そんな「嬉しかった言葉」をご紹介します。



## 嬉しかった言葉



丸子クリニック  
看護部  
姫岡 あゆみ

透析看護は、慢性期の患者さまへの看護という特徴から、同じ患者さまと長くお付き合いをさせて頂く事が多いです。患者さまと日々のコミュニケーションを図る中、先日、ある患者さまが胸を打つ言葉を私に伝えて下さいました。ある日の透析中、その患者さまにシャント肢痛が出現し、その対応と言葉掛けをさせて頂き、何とか患者さまが乗り越え、最後まで透析ができたというエピソードがありました。後日その患者さまと接した際「最後ま

でよくがんばりましたね、と言ってくれたことが、本当に嬉しかった。ありがとう。」と涙を浮かべながら私に伝えてくれたのです。

日常的な事だと思っていた言葉掛けに対し、ありがとうの言葉を頂き、本当に嬉しく思いました。加えて、言葉により、こんなにも人を勇気づける事ができるのだ…と改めて実感し、初心に返る事ができました。これからもその気持ちを忘れず、思いやりを持って看護を実践していきたいと思います。



## 患者さまから頂いた「嬉しかった言葉」



井土ヶ谷腎クリニック  
臨床工学部 副主任  
平林 薫

仕事を始めて1年を過ぎたころ、いつも同じ時間に先輩がある患者さまを気にかけていることに気が付きました。先輩に理由を伺うとその患者さまはいつもその時間に血圧が下がりがやすいので注意をしているということでした。それを聞いた私はそれから先輩のまねをしてその時間には患者さまに必ずお声かけするようにしました。お声かけをするようになってからしばらくして患者さまが「あなたいつもこの時間に私を気にかけてく

るでしょう。うれしくてね。朝に透析室に入って来てあなた方がいたら安心できるのよ。」と仰ってくださいました。この特別ではないちょっとした行動を患者さまが感じ取ってくださったことにびっくりし、そして先輩のまねでも新人の私にできることがあるんだ、ととてもうれしく思う出来事でした。

今でも背伸びをして失敗をしてしまい落ち込んだ時、今の私にできることはなんだろうと考えるたびに思い出しています。



## 嬉しかった言葉



青梅腎クリニック  
臨床工学部 係長  
**武田 崇**

「武田さーん」 振り返ると一人の素敵な女性が立っていました。横浜で開催される会議に向かう途中の河辺駅でのお話…。

透析を受けていらっしゃる患者さまは、透析室の中の姿のイメージがあり呼び止められてもすぐには認識出来ませんでした。先ほどまで透析を受けていらした青梅腎クリニックの患者さまでした。

「今日は穿刺して頂いてありがとうございます。穿刺前に武田さんの姿を見かけるとね、宝くじを毎回買っている気分になるの。穿刺にきてもらえるとね、やった一当たった！って思うしね、はずれても次に透析室に通う楽しみになるの。スーツ姿素敵ね。これから横浜？いつも

大変ね～。いつもありがとうね。身体に気を付けて頑張ってるね！」

臨床工学技士という仕事の中で、この患者さまのお言葉はとても嬉しく明日へ向かう活力になりました。そして思いをしっかりと、そしてお洒落に相手に届けることが本当に素敵の人だと感じました。私は患者さまに支えられて今を生きていることも再認識致しました。

予定の電車は逃してしまい、会議も間に合うか…。でもそんなことどうでも良いと思えるとても嬉しいほっこりした一日でした。

僕もいつも支えてくれる息子へ「いつもありがとう」と言ってみます！



## 気持ち伝わった一言



横浜西口ヘルチェッククリニック  
事務部 ケアドライバー

**小澤 俊一**

私がケアドライバーの業務に携わり、この春で4年目を迎えます。最初の頃は、患者さまのお顔やお名前、ご自宅までのルート覚えることに専念しました。そのため患者さまとの会話や、一人ひとりへの気配りが疎かになったと思います。1か月を過ぎるころには患者さまとコミュニケーションが取れる余裕も出てきました。また、透析後の患者さまに対する配慮も持つようになりました。血圧が下がり体調が良くない方、水分補給が足りず足がつってしまう方、

止血ができてなく出血してしまう方もおり、患者さまの体調を優先した行動を心がけました。そんなとき患者さまから「送迎してもらえると本当に助かるよ」と頂いた言葉がとても嬉しく思いました。さりげない一言でしたが、患者さまの気持ちが伝わってきました。

これからも患者さまが通院するご苦勞を少しでも軽減できるようなサービス、安心安全な運行為提供できますように精進してまいります。



## 嬉しかったこと



湘南台じんクリニック  
看護部 副主任  
**太田 めぐみ**

私は、善仁会に入職して4年目になります。患者さまやご家族と密に関わる仕事をしたく、透析看護に携わっていきたくて思いました。患者さまと関わる中で、お誉め頂くことや励まして頂くこと、時には厳しい言葉を頂くこともあります。

学生時代「あなたの笑顔に元気をもらっている」と仰って頂いたことがあります。その時の言葉は10年経った今でも忘れられません。私は、元気に笑顔で患者さまと接することを忘れずに、日々の業務に努めています。

最近では、受け持ち患者さまから「いつもありがとうございます。太田さんがいるから頑張れるのよ」と仰って頂いたことがあります。患者さまと信頼関係が築け、私という存在が患者さまにとって、励みになっているということがとても嬉しく思います。またそれが私自身の励みにもなっています。

日々の業務の中で、くじけてしまいそうな時もありますが、患者さまから頂いた言葉の数々を思い出し、より良い関係が築けるよう今後も努めていきたいと思っています。



## 仕事をしていて嬉しかった言葉



久我山腎クリニック  
事務部  
**岡田 紀子**

私は、11月より看護事務から事務に職種変更しました。透析室の中の状況を少し分かっているため、大変な時はお手伝い出来るメリットがあります。まだ仕事に慣れていないため、職場の皆さんに助けて頂くことが多い中、「出来る事は何でもやってあげるから言ってね」と声をかけて頂いて、嬉しく感謝しています。

患者さまとの関わり方も変わりました。朝のご挨拶の時は体調の変化がないかなどお尋

ねし、透析後はお疲れですので、明るい声掛けをして、皆様が気分よくお帰りになれるよう心がけています。介護の仕事をしていたことがあり、その経験を生かす事が出来たらいいと思っています。

お世話をさせて頂いた患者さまから「いつもありがとうございます」の言葉を頂くと嬉しいです。これからも笑顔で真心こめて患者さまと接していきたいと思っています。



## 嬉しかった言葉



瀬谷腎クリニック  
臨床工学部  
**長村 遙加**

私が患者さまから頂いたお言葉の中で一番嬉しいと感じたのは、現在の施設に異動する前、患者さまにご挨拶した際の一言です。

異動を伝えると、「寂しくなっちゃう、行かないで」「やっと慣れてきた所だったのに、残念ね」といった別れを惜しんで下さる言葉や、「新しい施設でも頑張って」「あなたはいつも真面目に頑張っていたから、新しい場所でもちゃんとやっていけるよ」といった暖かい励ましの言葉をたくさん頂く事ができ、嬉し

かったと同時に、患者さまは私たちスタッフの事をよく見て下さっているのだなという事や、毎日コツコツと努力していけば信頼関係は得られていくものなのだという事を、改めて感じる事ができました。

これからも頂いた言葉を糧に日々の業務に取り組み、患者さまとのコミュニケーションを欠かさず、より多くの患者さまに信頼して頂けるよう努力していきたいと考えています。



## うれしかった一言



吉祥寺あさひ病院  
看護部  
**丹 なつ美**

今回、このような形で自身の看護経験を振り返るのは恐縮ですが、当院に入社してから4年も経つのだと改めて実感しています。

新人時代から2年目にさしかかる頃、急性期から他病棟への異動を考えていました。その頃「腎疾患専門の病院」と検索ワードでリンクし、内科で働きたい気持ちも強かったので当院の内定を頂いた時は身に余る思いでした。

入社から3ヶ月が過ぎた頃、自分の母親と同じ年齢でしかもお子様と自分の年齢が同じ患者さまの担当に偶然なりました。食事管理の他、民間療法を試されるなど透析を免れる手は無いか遠方からの御入院でした。結局、透析導入まで当院で過ごされる事になったのですが、同室者の方と折り紙をしながら消灯後もお話されたりイヤホン無しで音楽を流されたり「若いなあ～」といった印象で

したが、透析を重く受け止めているような言動も聞かれ、担当としてあと一歩が詰められない距離感がありました。結局畏まった教育指導というより時間外に一緒に折り紙をしながら質問に答える...そんな流れで夜勤明けが退院日だったので、いつものように誘われ寝ぼけ眼で一緒に折り紙を折っていたのですが、帰り際「私のことよくわかっている、丹ちゃんによかった。」と言ってもらえて嬉しかったのを覚えています。

病棟規模としては46床と決して大きくない病院ではありますが、腎疾患専門の病院として遠方からわざわざ当院を目指して来られる方もいらっしゃいます。業務に追われる日々ではありますが、今一度自分の看護を振り返る機会にできたらと思います。

## News Topics

# 吉祥寺あさひ病院 バスキュラーアクセスセンター を開設しました。



吉祥寺あさひ病院  
バスキュラーアクセスセンター  
センター長 野口 智永

日本透析医学会専門医・指導医、  
腎不全外科学会幹事、VAIVT研究会幹事



吉祥寺あさひ病院では、昨年10月に豊富な透析治療の経験と実績を活かしたバスキュラーアクセスセンターを開設いたしました。長期に安定したバスキュラーアクセスの作製や維持を使命として、透析患者さまのバスキュラーアクセスの迅速な診断、治療、維持に取り組んで参ります。

### 特徴1

#### あらゆる シャントトラブルに対応

経験豊富な医師が患者さま一人ひとりに合ったバスキュラーアクセスを作製いたします。PTAはほとんどの症例を超音波下にて実施、患者さまのご負担を軽減します。

### 特徴2

#### シャント治療目的の 入院も含めたトータルケア

腎専門病院の院内のセンターとして、予防から診断・治療・入院・リハビリテーション・社会復帰までのトータルケアをまいります。

### 特徴3

#### より良い血液浄化療法を

吉祥寺あさひ病院では、バスキュラーアクセスの管理・治療だけでなく、より良い血液浄化療法を患者さまに受けていただけるよう取り組んでおります。

### ●受付時間：月曜日～土曜日 9:00～16:00

|   | 午前 | 午後     |
|---|----|--------|
| 月 | 診察 | 手術・PTA |
| 火 | 診察 | 手術・PTA |
| 水 | —  | —      |
| 木 | 診察 | 手術・PTA |
| 金 | 診察 | 手術・PTA |
| 土 | 診察 | 手術・PTA |

緊急を要する場合は別途ご相談ください



〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-30-12

TEL：0422-22-1120 受付担当：バスキュラー予約係

## 第37回 善仁会研究報告会

11月29日(日)、そごう横浜9階の新都市ホールにて、第37回善仁会研究報告会が開催されました。

特別講演は、東京医科大学 腎臓内科学 主任教授 菅野 義彦先生に『高齢CKD患者の栄養管理』というテーマでお話いただきました。先生のお話から、私たち医療従事者は患者さまを取り巻く様々な状況を踏まえ、“家族を含めた他

職種によるチームで情報を共有して取り組むことの重要性を改めて強く意識する機会となりました。

スタッフによる17演題の一般演題や、昨年よりもスペースを拡張して行われたポスター発表では、活発な質疑応答が行われ、また会場各所でも多くのスタッフが積極的に意見交換を行うなど、大変貴重な機会となりました。



特別講演

東京医科大学 腎臓内科学  
主任教授 菅野 義彦 先生



ポスター発表の様子



会場の様子

## 思いやりエキスパート(腎・看護)第6期生認定

優れた知識と技術だけでなく、「思いやりの心」というグループ理念の誠実な実践が求められる「思いやりエキスパート(腎・看護)」の第6期生として、今年度は8名の看護師が認定を受けました。今後も各クリニックにおいて、患者さま満足の向上に努めるとともに、グループ全体の看護の質の向上に取り組んでまいります。

皆さま、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



明けましておめでとうございます。

今年も少しでも皆様にとってより良い情報をお伝えできたらと思います。(佐伯)

## 横浜第一病院バスキュラーアクセスセンター

バスキュラーアクセスに専門的かつ総合的に対応するセンターとして、最新の医療技術、設備のもと、迅速な診断、長期に安定したバスキュラーアクセスの作製、維持に取り組んでいます。



センター長 笹川 成

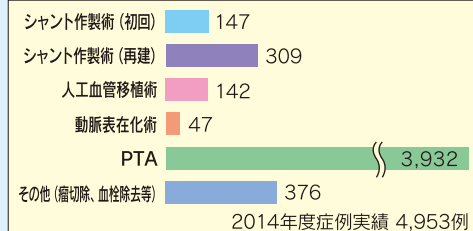


**診療時間** 午前9:00~15:30

**休診日** 日曜・年末年始

**予約制** バスキュラーアクセス外来の診療は予約制となっております。ご来院前にお電話でお問い合わせください。(緊急を要する場合は別途ご相談ください。)

●横浜第一病院バスキュラーアクセス関連手術実績



専用電話 : 045-453-6709 FAX : 045-453-6701